



## 関西国際空港での外貨両替がさらに便利に！ トラベックス、6/1より順次新店舗・自動両替機をオープンへ

関西エアポート株式会社は、6月1日（土）の「トラベックス 関西空港 国際線到着ロビー南店」のオープンを皮切りに、関西国際空港内にトラベックスの新規店舗及び新規自動両替機が順次オープンすることをお知らせいたします。



トラベックスは、世界の国際空港・主要都市に1,500店舗以上の外貨両替直営店、1,200台以上のATMを運営しており、31種類の通貨を取扱っています。申込書不要でスピーディなサービスの提供、クレジットカードでの外貨購入が可能で、ご両替金額に応じてマイレージもたまります。さらに外貨買取優遇レートサービスで、使い残した外貨を優遇レートで再両替することもできます。

現在、トラベックスは関西国際空港内に6店舗を展開しており、この度新たに4店舗が増え、年内には計10店舗を予定しています。また、新規自動両替機も3台設置するなど、空港での外貨両替がますます便利になります。その他、「KIX-ITMカード」による割引や学生割引など、ユーザーに合わせた各種キャンペーンも実施します。また、増加する外国人旅客にも対応できるよう多言語対応スタッフの配置も予定しております。

関西エアポート株式会社は、お客様の利便性向上とともに、快適で楽しい旅の体験を創造してまいります。

### <新規店舗>

新規店舗	オープン日	営業時間
トラベックス 関西空港 国際線到着ロビー南店	2019年6月1日	始発便到着時～最終便到着の1時間後
トラベックス 関西空港 国際線到着ロビー北店	2019年7月頃	始発便到着時～最終便到着の1時間後
トラベックス 関西空港 国際線出発ロビー中央店	2019年8月頃	始発便出発の1時間30分前 ～最終便出発の1時間前
トラベックス 関西空港 国際線出発ロビー南店	2019年10月頃	始発便出発の1時間30分前 ～最終便出発の1時間前

※オープン日や営業時間は変更となる場合があります。

### <新規自動両替機>

自動両替機	稼働開始日	営業時間
トラベックス 関西空港 第2ターミナル 出発ゲート両替機	2019年6月4日	24時間
トラベックス 関西空港 国際線到着ロビー南 両替機	2019年7月2日	24時間
トラベックス 関西空港 国際線到着ロビー北 両替機	2019年7月23日	24時間

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ  
Tel : 072-455-2201

25 80 13  
KIX ITAMI KOBE



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運營業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客者数は2億4,000万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構